

分担研究報告書

研究の推進：研究開発・国際比較  
国際動向

研究分担者 南学正臣 東京大学

研究分担者 深水 圭 久留米大学

研究要旨：CKD 及び CKD 診療体制の国際比較、ESRD・腎代替療法(RRT)の実態の国際比較、CKD の成因の相違・特徴、海外の CKD 診療体制の調査を行い、今後の研究の報告制を検討する。

A. 研究目的

海外の CKD および ESKD 診療体制の情報を収集し、今後の研究の方向性を検討する。

B. 研究方法

国際腎臓学会による国際的な CKD および ESKD 診療の状況を把握するための Global Kidney Health Atlas の作成に協力した。

（倫理面への配慮）

医療従事者によるアンケート調査である。患者へのアンケート調査は、翻訳が膨大なため、行わなかった。

C. 研究結果

国際腎臓学会がデータを取りまとめており、今後その内容の分析を進める。

D. 考察

これまでの検討で、日本と海外の診療実態の違いがある部分も明らかになっており、その変化がどのように変わってきているかを分析していく予定である。

E. 結論

引き続き、海外の診療と日本の診療の違いを分析し、日本の診療が地域に合った最適化したものであるのか、国際標準とかけ離れた不適切な部分があるのかを検討していく必要がある。

G. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし